

9. フロア目標(平成22年度)

看護部目標	フロア目標
みて、触れて、考え、患者の生命力を引き出す看護を実践する	患者の個人目標に合わせたADL拡大への援助ができる
看護実践能力の向上を図る	12/27全員がCOPD患者への初期対応が実践できる 人工呼吸器装着中患者のケア(口唇ケア・体位変換・気管内吸引・口腔内吸引等)が実践できる 12月までに、12/27全員がRASSを用いた鎮痛・鎮静状態の評価ができるようになる
看護観念が互いに実質しあっている力を引き出し、発展する 病院運営に参画する	各個人受け入れ体制チーム毎に、興味のある分野の勉強会を企画・運営する 感染を予防する
フロア独自目標	
生体モニターの不要アーム防止のための適切な行動がとれる	
「臥床患者の動きバスター使用廃止」を検討し、院内で発表できる	

患者さんやご家族にとって、ICU入室が必要な手術や入院は一生に一度あるかないかの大きな出来事です。

私たちの、治療や看護の提供によって、不安を軽減することも増長することもあります。確実な知識と技術を培い、看護職にふさわしい態度で患者さんやご家族に接してください。

また、ICUは、院内のどの部署ともつながりのある中央部門です。私たちの働き方が、他部門や他部署にも影響します。患者さんやご家族に対してだけでなく、看護師や他職種に対しても、協調性のある態度で臨んでください。

よろしくお願いいたします。